

有限会社花房鋺金

■事業

電源機と画像寸法測定器の導入による
工程の精度及び生産性の向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

キーエンス 画像寸法測定器IM-7500/7030T、
ケミカル山本 ステンレス溶接焼け取り機スーパーシャイナーA2

農機の試作機用部品製造で創業 多品種小ロット生産の技術力が強み

【経営理念】

技術力と実行力でワンストップを実現します
町工場の連携でお客様の要望にお応えします

主に金属部品の製造を手掛ける有限会社花房鋺金は、花房陽一社長の伯父、花房岩雄氏が1982(昭和57)年に創業した。松江市東出雲町に本社工場がある三菱農機(現三菱マヒンドラ農機)の試作部門にいた岩雄氏が独立し、農業機械をモデルチェンジする際などに作る試作機の部品製造を始めた。試作部品の専門工場は同町内で唯一だ。部品といっても設計図通りのものにするには試行錯誤せざるを得ず、多品種小ロットながらも技術力が磨かれた。

1990(平成2)年に法人化し、旧工場が手狭になったため、2012年に現在地に移転。設計から鋺金、機械加工、溶接まで一貫した製作工程を有していることもあり、島根県内の省力機械や産業機械メーカーなどからの部品の発注が増えている。省力機械などは注文主の要望に沿った1点ものが多いからだ。新規の取引企業が増えるにつれて加工精度の要求が高度化し、納期の短縮化も求められることから、2018年度の補助事業で画像寸法測定器とステンレス溶接焼け取り機の導入を決断した。

正確な測定データ添付で高い信頼 新装置は新規受注獲得に効力発揮

画像寸法測定器は、製造した部品を台の上に置くだけで、部品の細部まで瞬時に測ってくれる。それまではノギスやハイトゲージを使い、人の手で測って品質管理をしていた。測定器導入で測定時間は3~4割短縮した。形状が複雑な部品ほど威力を発揮し、測定精度も向上して不良率も低減。その測定データを添付して部品を納入することで、注文主の信頼度もより高くなっている。

鉄やステンレスは溶接すると、その部分が焼けて変色する。鉄と違ってステンレスは塗装などせずに使用するため、焼け取りは不可欠。これまでは100ボルのステンレス溶接焼け取り機を使っていたが、同じ電解式で能力の大きい200ボルの装置を導入。時間が3分の1ほどに短縮さ



花房鋺金の社員の皆さん



1

1 導入した画像寸法測定器

2 導入したステンレス溶接焼け取り機

3 レーザー加工機



2



3

れ、除去精度もアップした。しかも2人同時に作業することが可能になった。

2019(令和元)年に毎年大阪で開かれている機械部品や加工技術の展示会に出展したのがきっかけで新規の取引が増えており、両装置は受注獲得に効力を発揮しつつある。

従業員の高いスキルが財産 町工場のネットワークづくり促進へ

社の財産を花房陽一社長は「従業員のスキルの高さ」と話す。試作部品などの製造では、図面やデータを基に求められるものを作らなければならない、それによって考える力や他の従業員との連携力が養われるという。町工場が集まっている東出雲町という立地も財産だ。社内にはない機械が必要な場合は他社に仕事を依頼し、量産品の受注があった場合は他社に回したりしている。「町工場のネットワークづくりにさらに力を入れていきたい」と意気込んだ。

■Company Data

有限会社花房鋺金



花房鋺金の社屋

代表者名：花房陽一
設立年：1990(平成2)年
資本金：5,000千円
従業員数：18名
主たる業種：金属製品製造業
本社：〒699-0101
松江市東出雲町屋根2557-10
電話：0852-52-5415
FAX：0852-52-6262
URL：http://www.hanabusa-bankin.co.jp/